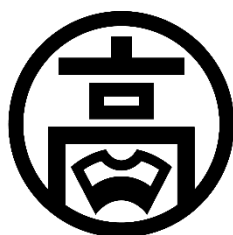


令和7年度 高知県・高知市 知事・市長及び教育長連携会議

高知県教育委員会

説明資料

- 不登校対策について（P1～）
- 学力向上の取組の成果と課題、今後の取組について（P3～）
- キャリア教育について（P8～）
- 保幼小連携・接続の取組について（P9～）



きらっと いざいざ あったかい
高知家の教育

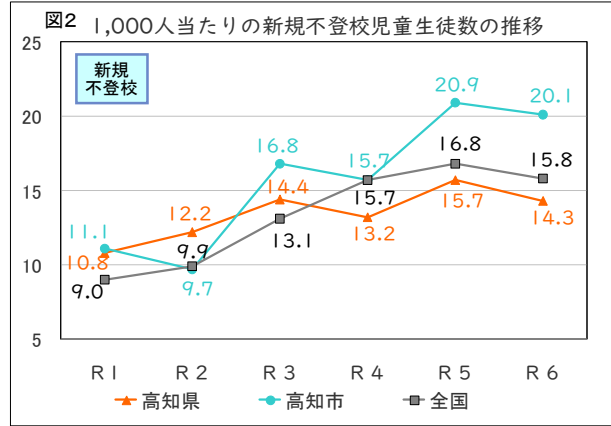
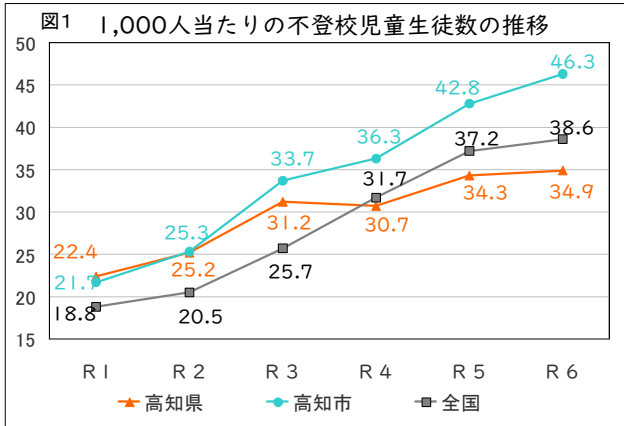
高知県における不登校の状況

県資料1-1

※下記の図の数値については、「高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査」及び「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）によるものである。

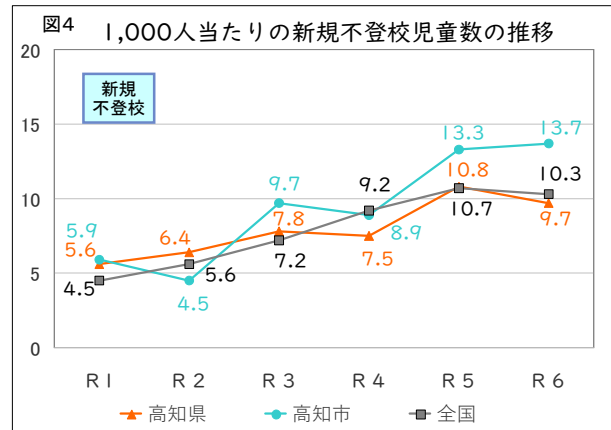
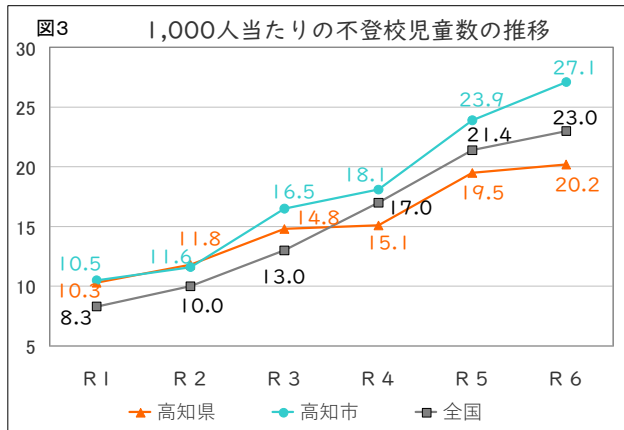
1. 小・中学校における不登校児童生徒数の推移（高知県：国公立学校・国：国公立学校）

単位：人



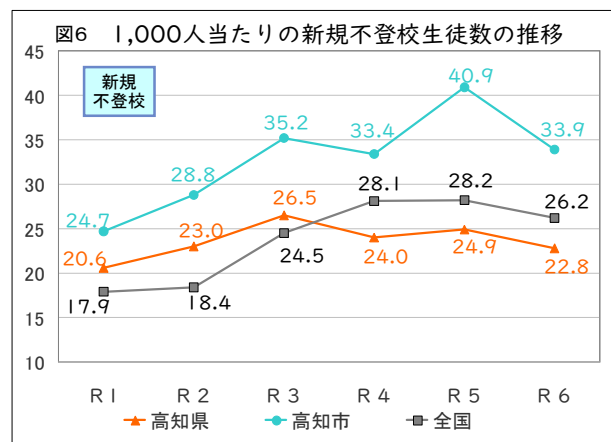
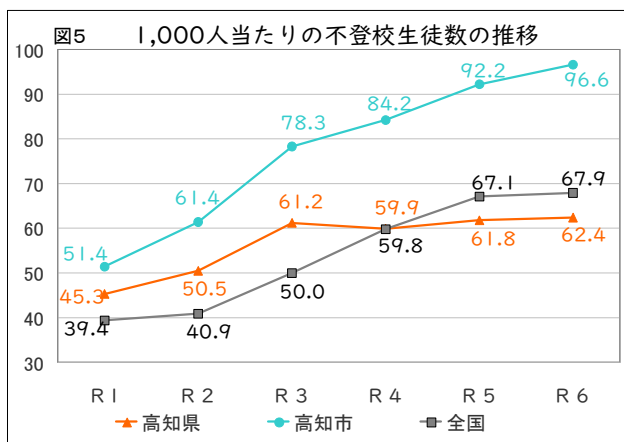
2. 小学校における不登校児童数の推移（高知県：国公立学校・国：国公立学校）

単位：人



3. 中学校における不登校生徒数の推移（高知県：国公立学校・国：国公立学校）

単位：人



R3→R6 校内サポートルーム指定校＜中学校＞の状況

※指定校の数値は、令和6年度の指定校11校について「高知県生徒指導上の諸課題・児童虐待に関する調査」の結果を整理したもの、高知県及び国の数値は「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）によるものである。

		1,000人あたり不登校生徒数				1,000人あたり新規不登校生徒数			
		R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
指定校	高知市以外7校	58.9	56.9	54.7	48.3	20.2	19.9	18.9	14.6
	高知市4校	96.5	97.1	98.9	96.7	43.0	35.2	40.2	31.4
	指定校11校計	74.4	73.5	72.9	67.9	29.6	26.2	27.7	21.4
高知県		61.2	59.9	61.8	62.4	26.5	24.0	24.9	22.8
国		50.0	59.8	67.1	67.9	24.4	28.1	28.2	26.2
県全体と指定校の差		13.3	13.6	11.1	5.5	3.1	2.2	2.8	-1.4

図7 1,000人当たりの不登校生徒数（県・国：国公立）

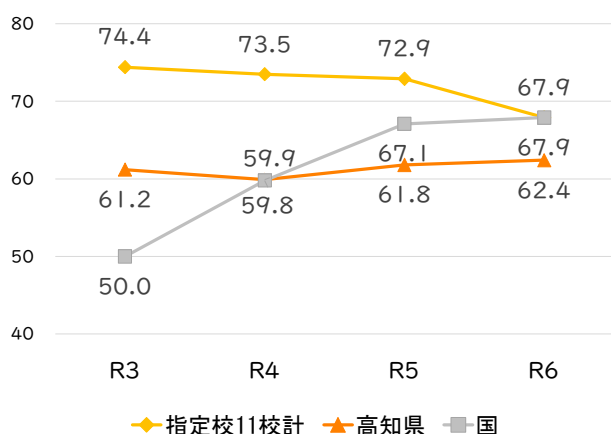


図8 1,000人当たりの新規不登校生徒数（県・国：国公立）

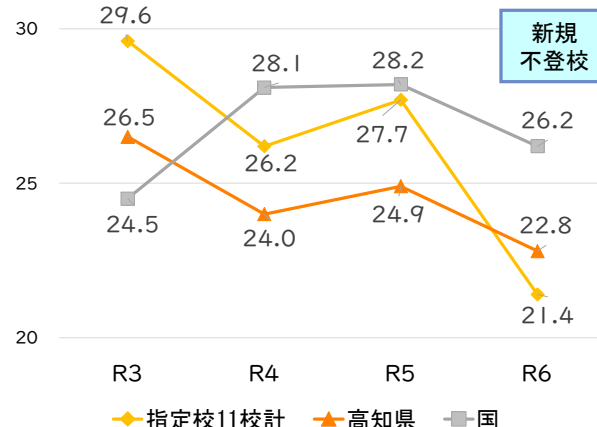


図9 1,000人当たりの不登校生徒数（高知市以外・高知市比較）

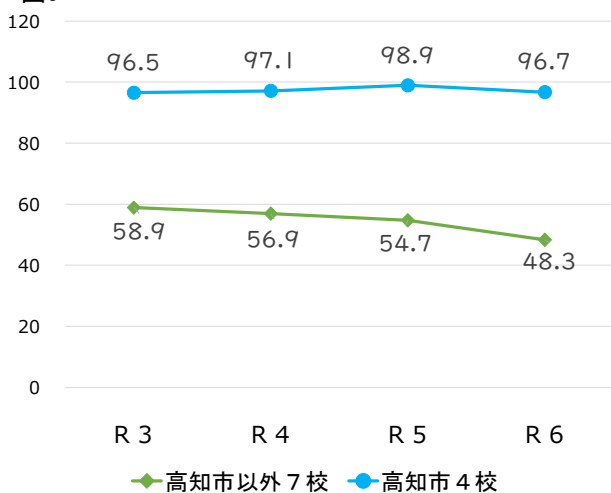
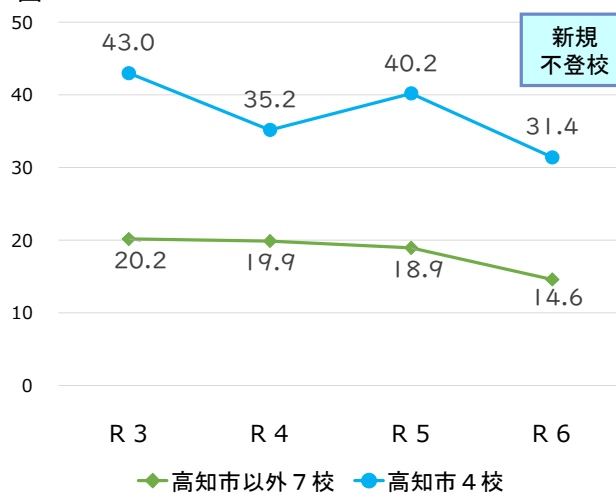


図10 1,000人当たりの新規不登校生徒数（高知市以外・高知市比較）

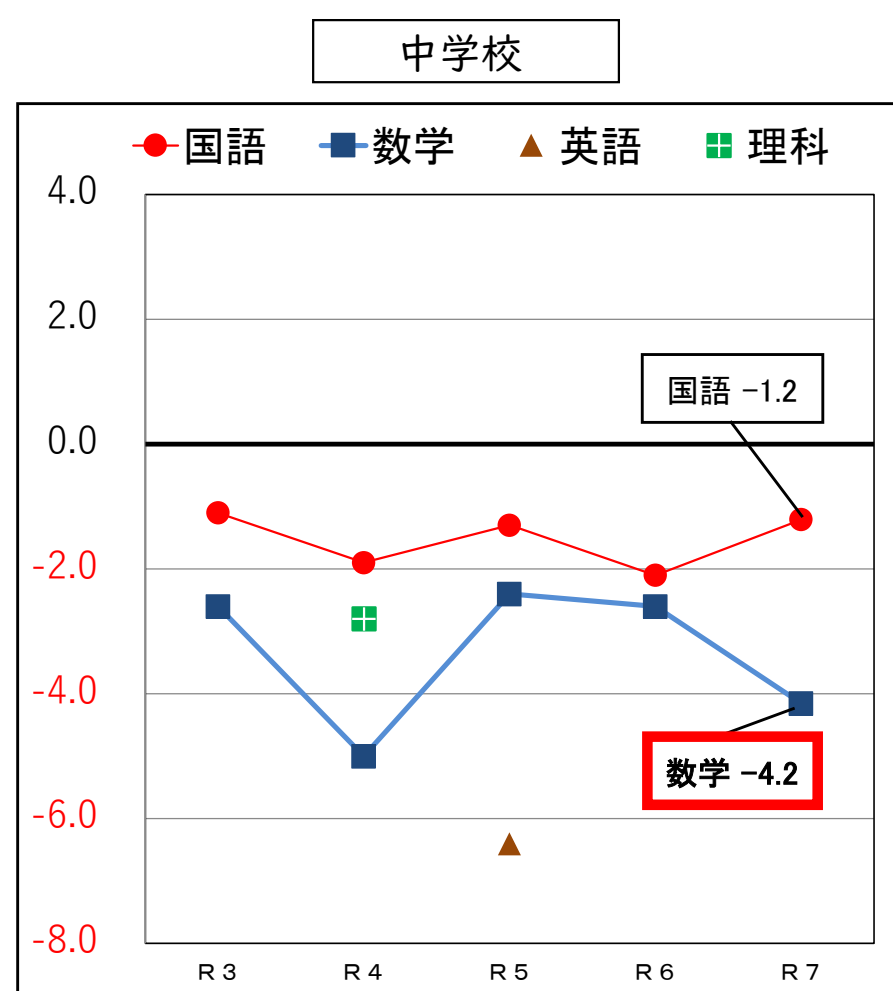
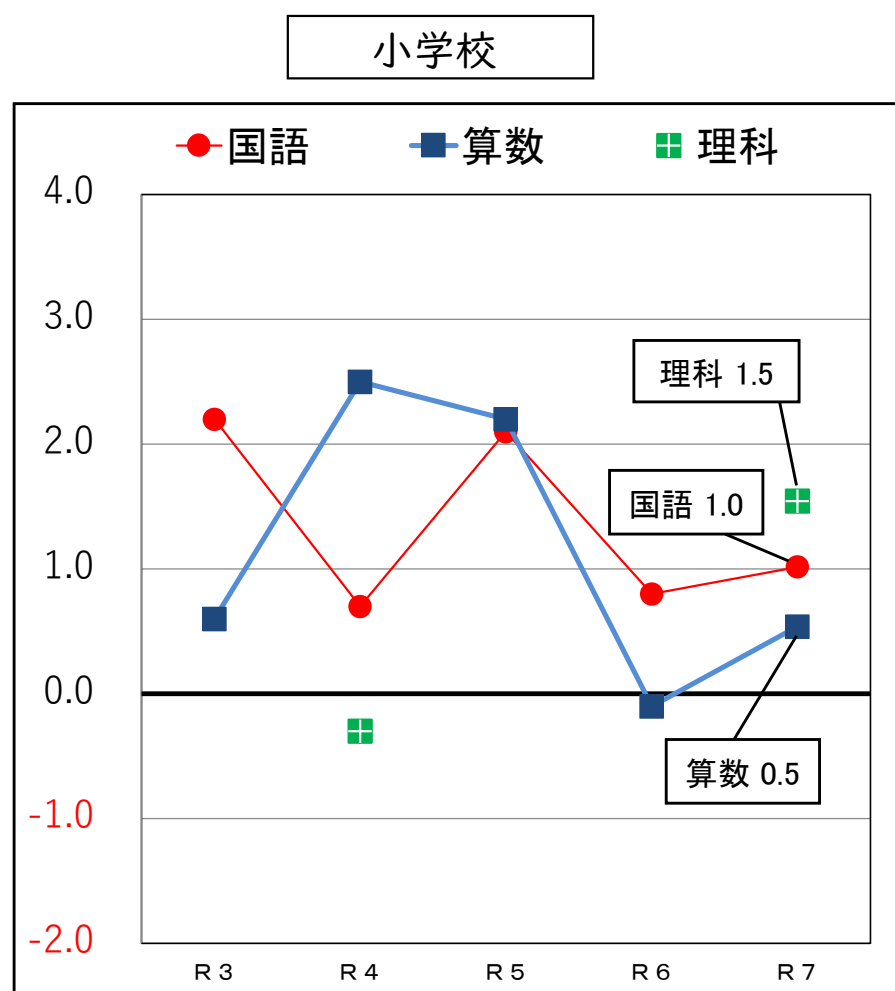


学力向上の取組の成果と課題、今後の取組について

- 全国学力・学習状況調査
- 家庭学習に関するアンケート調査結果
- 今年度及び次年度の取組

高知県教育委員会 小中学校課

全国学力・学習状況調査 高知県と全国平均正答率との差

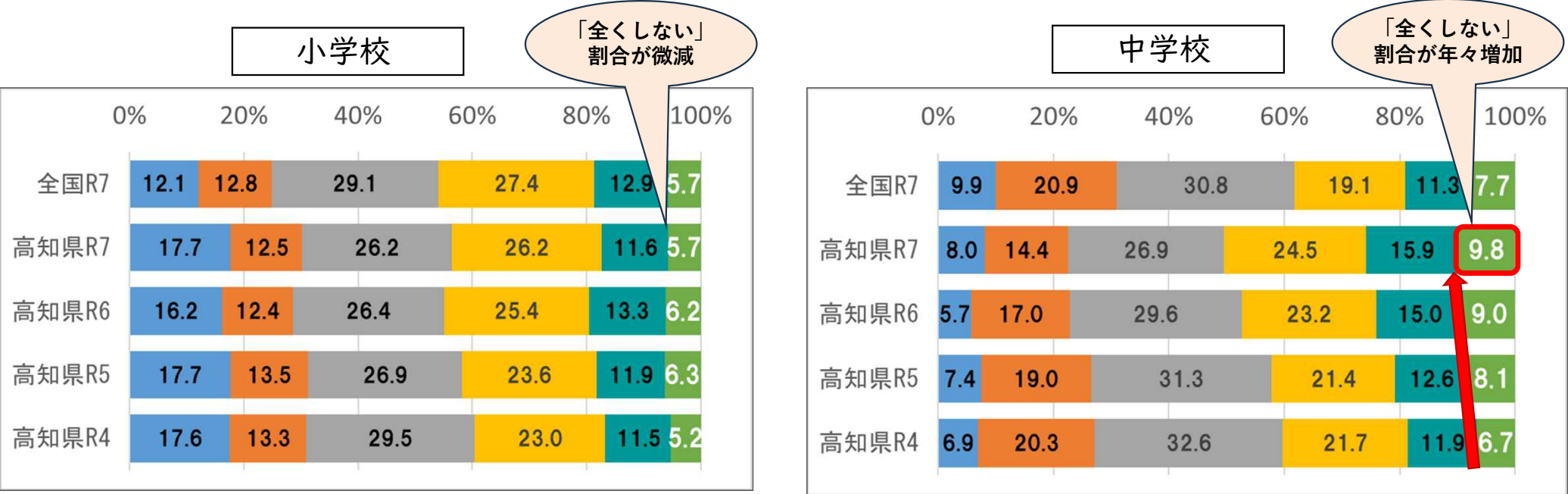
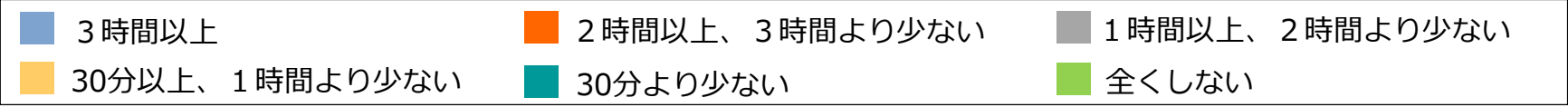


※縦軸は全国平均正答率との差をポイントで示している。
 ※令和7年度中学校理科はIRTによる結果提供のため、数値は表示していない。

全国学力・学習状況調査 学習習慣に関する質問調査

児童・生徒
質問調査

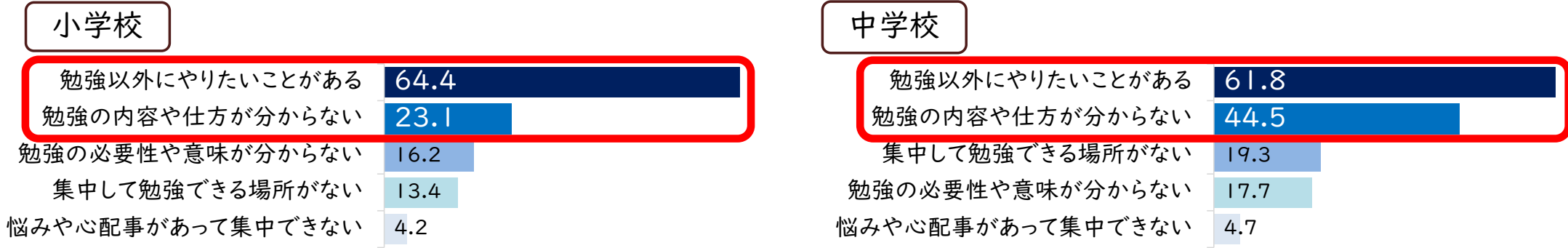
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



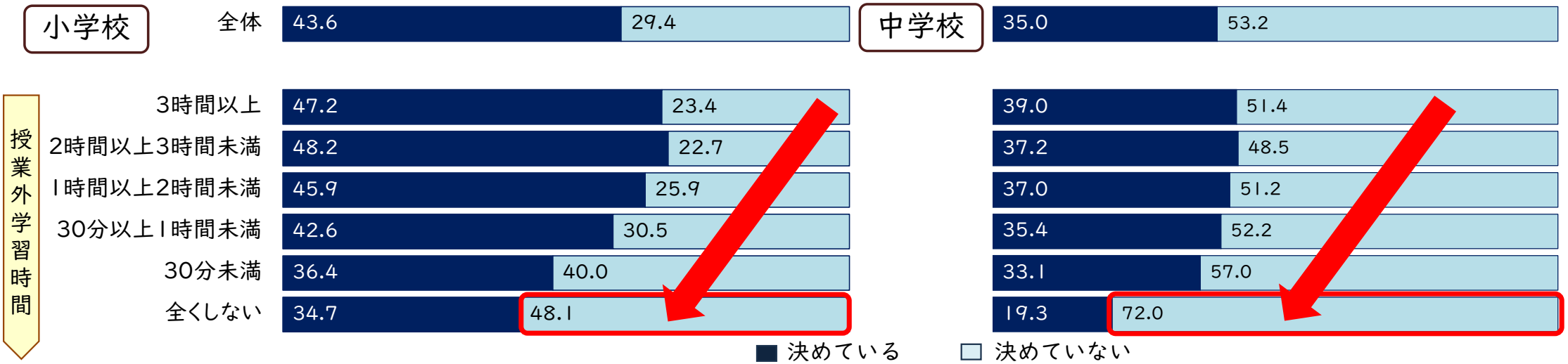
家庭学習等に関する 県独自アンケート調査（R7.9月）

授業外学習を全くしない児童生徒の理由（2つまで回答）

「勉強以外にやりたいことがある」 ・ 「勉強の内容や仕方が分からない」



授業外学習時間が短くなるほど、インターネット等の利用について家庭のルールを決めていない傾向がある





家庭学習、家での時間を見直そう！

～学習習慣と生活リズムで、子どもはもっと変わる～



お子さんが、授業以外で一日どのくらい学習をしているかご存じですか？

家でも頑張って勉強してほしいけど、スマホやタブレットを手に、SNSや動画、ゲームに夢中になっているお子さんの姿を見て、「いつ勉強しているのだろうか…」と不安を感じるご家庭も多いのではないのでしょうか。

文部科学省や県が実施したアンケート調査の結果から見える高知県の状況をお伝えします。

この機会に、家庭学習や生活習慣について、ご家庭で話し合ってみてください。

1 授業以外に学習を全くしない子どもの状況 < R7全国学力・学習状況調査 質問調査 >

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日に「全く勉強しない」と答えた児童生徒の割合

R7	小6	中3
高知県	5.7%	9.8%
全国	5.7%	7.7%

このような結果を大きな課題と受け止め、授業外での学習時間やゲームやSNS・動画等の利用時間等についてアンケート調査を行い、以下のような結果となりました。

2 授業外の学習時間とテレビゲーム・スマホとの関連 < 9月 県アンケート調査：県内の小6・中3 >

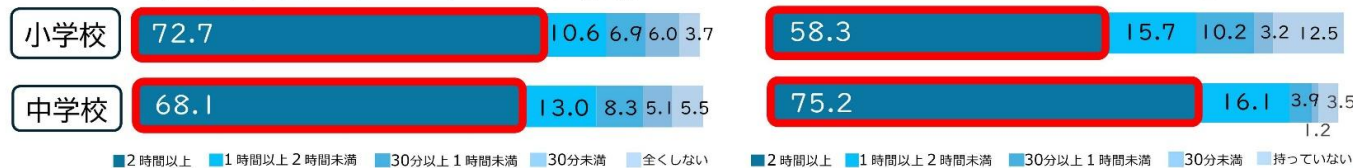
授業以外に学習を全くしない子どもが、1日あたりにテレビゲーム及びSNS等を

2時間以上する割合は、約60%～70%

ゲーム+SNSで4時間を超える子どももいるかもしれません。

【1日当たりのテレビゲームの時間】

【1日当たりのSNS等の時間】



家庭でスマホ等の使い方のルールを決めていない子どもは、授業外学習時間が少ない傾向
特に、中学生は、授業外学習を全くしない生徒の**約70%が家庭でルールを決めていない**



3 家庭での時間の使い方やスマホなどの使い方のルールを一緒に考えて決めましょう。

家庭学習の習慣化には、テレビゲームやスマホ等の利用が関連していると考えられます。

家庭学習の習慣化や生活習慣の確立のために、家庭での時間の使い方やスマホの利用のルールについて、お子さんと一緒に考える機会を設けませんか。

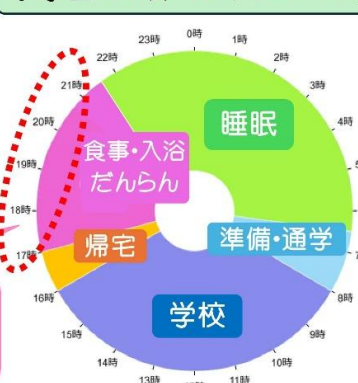
お子さんと一緒に

☐ 学習時間を決める

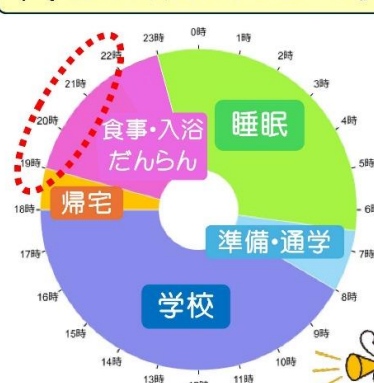
☐ 余暇（遊び）の時間を決める

決めたら、お子さんが実行できるように応援してあげてください。

小学生の1日のスケジュール例



中学生の1日のスケジュール例



活用例 デジタルを活用した個別最適な学び【英語】

 **取組内容** 学習課題に応じて生徒が対話型AIにアシストしてもらいながらよりよい英作文に仕上げる

活用の効果

○一人一人の学習進度や理解度に応じた対応
個々の生徒のタイミングで分からないところを質問しながら学習を進めることができた。

○苦手分野の補強
文法や表現のミスを即座にフィードバックして改善につなげることができた。

【AIへの指示】英作文の書き出しについての質問

地域の動物園を紹介する英作文を書きたいのですが、
どのように書いたらいいのか教えてください。



【AIからの回答・提案】

動物園を紹介する英作文を書く際には、以下のポイントに基づいて構成すると効果的です！

1. 特徴を伝える

- どのような動物がいるのか
- 特に人気のある動物や展示

例： The zoo has more than [number] kinds of animals, such as big lions and funny penguins. The [special exhibit name] is very popular (with everyone).

【AIへの指示】生徒が作成した英作文へのアドバイス

地域の動物園を紹介する英作文を作成しました。よい点、改善点、具体的なアドバイスをしてください。

Example shoebill penguins, bats, giraffes, horses. We have some events in Septembar and october.
For example, i like Noichi de night. You canbuy souvernirs. my recommendation is stuffed toys.
For example big stuffed animal. You can eat lunch. You can see giraffes up close. It surprised. You should go to Noichi zoo. I sure that you like Noichi zoo.



【AIからの回答・提案】

動物園の魅力が伝わる文章ですね。この紹介文の良い点と改善点、そして具体的なアドバイスをお伝えします！

1. 単語・文法の修正

- shoebill penguins → shoebill_penguins 解説： shoebillとpenguinsの間に“,”が不足しています。
- october → Qctober 解説：“何月”の単語の最初の文字は大文字です。

2. 動物やイベントの紹介をわかりやすく区切る

Animals, events, activities...のように、トピックごとに書くとスムーズですよ！

例えば、

- **Animals**：there are many animals in Noichi Zoo, such as shoebills, penguins, bats,giraffes, and horses.
- **Events**：The zoo has fun events in September and October. I enjoyed “Noichi de Night”.

3. 感想やおすすめをもっと具体的に

小さなエピソードや理由を添えると、もっとよく伝わりますよ！

What surprised you? Why do you recommend stuffed toys?

個別最適な学習の充実

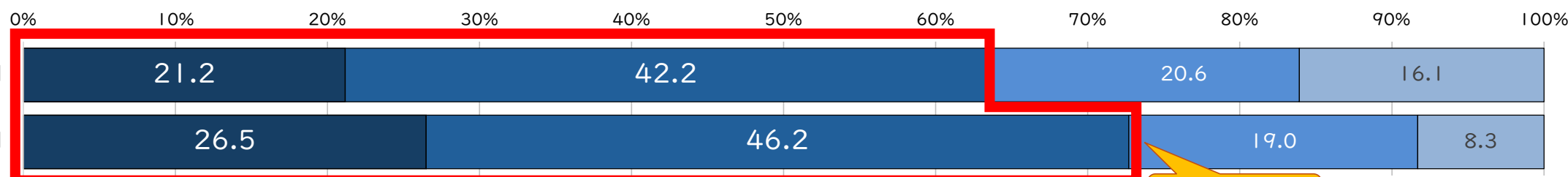
対話型AIを活用した学習支援実証研究事業
生徒アンケート（実証23校）7月導入期と12月現在との比較

学びに向かう意欲の醸成

学習に苦手意識をもつ生徒が、自己の理解度に応じた質問をAIに投げかけたり、AIからスモールステップの個別支援を得たりすることで、「解決できるかもしれない」と粘り強く課題解決に取り組む姿勢が見られ、学習に対する不安や悩みが解消された生徒が増加した。

対話型AIアプリを使うことで、学習に対する不安や悩みを解決することができた生徒が**9.3ポイント増加**

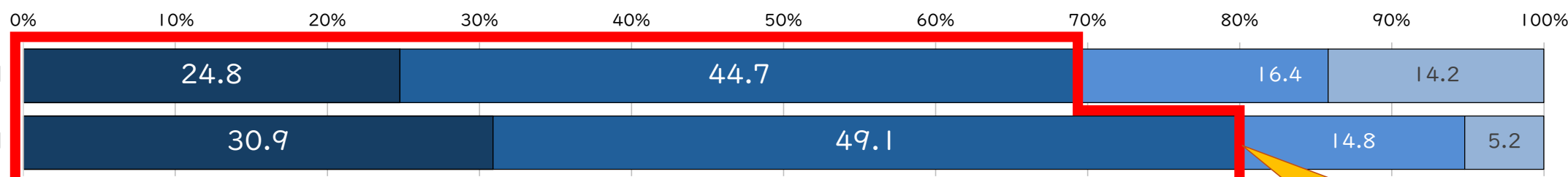
■とてもそう思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■思わない



9.3p増加

対話型AIアプリを使うことで、学習内容の理解が進んだ生徒が**10.5ポイント増加**

■とてもそう思う ■そう思う ■あまり思わない ■思わない

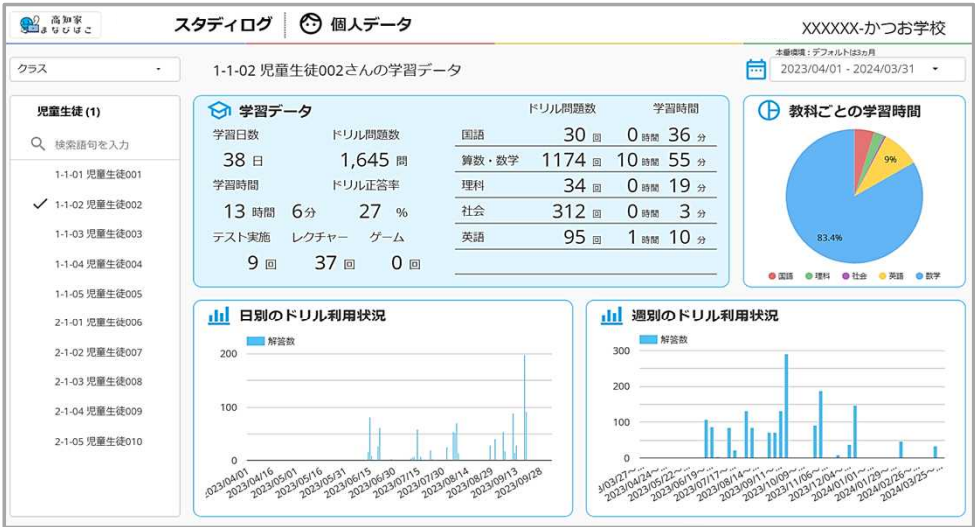


10.5p増加

個別最適な学習の充実

デジタルドリルの活用による学習データの蓄積
学習データの把握と分析【ダッシュボード機能】

教育DXスキルアップ研修Ⅳ
【データ活用】



教育DXスキルアップ研修Ⅳ
個別の支援につなげる
データの活用

個別の支援を
したいな...

子どもたちは
どれくらい
理解できている
のかな？

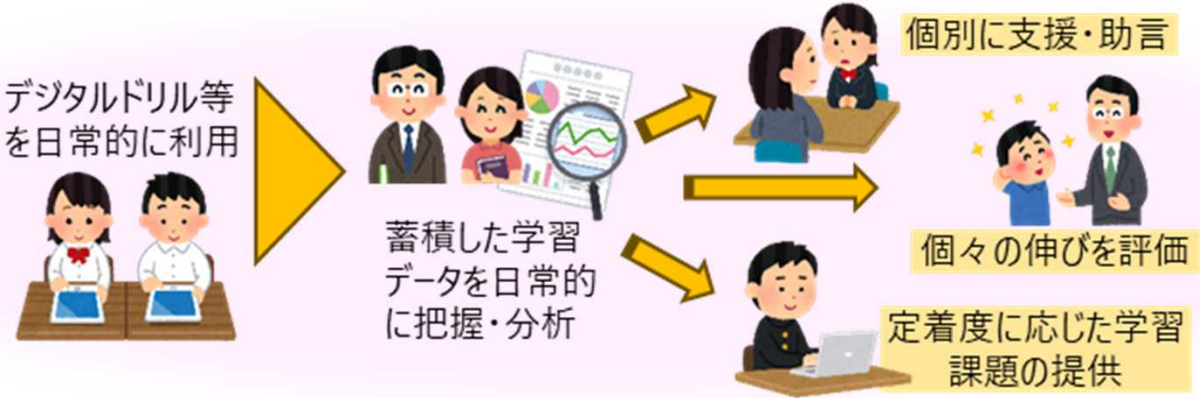
一人一人にあった
学びの実現するには？

データを活用
してみたい！

2025
11/25
15:30
~16:30

研修内容
現在、求められている
「一人一人にあった学
び」の必要性について
認識を深め、日々の授
業で個別の支援につな
げるためにデータをど
のように活用できるの
かを考えます。

主催 高知県教育委員会事務局 小中学校課



次年度の取組について

新 中学校教員のネットワークの構築 (数学・英語)

教員同士が定期的・日常的に情報交換・意見交流を行い、互いの指導力を向上 (県内5地域)

- 公開授業や教材研究、板書・授業実践、家庭学習の内容について情報交換
- 日々の教科経営の悩み等の共有

拡 授業DXの推進・拡充

児童生徒主体の授業づくりを研究する地域を拡充 (5地域から8地域へ)

- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 児童生徒が自分に合った学び方を選びながら学ぶ授業づくり
- デジタルを効果的に活用した授業づくり

継 授業外学習習慣の確立

家庭等での学習の重要性やゲーム・SNS等の利用について継続的に啓発

- 各種研修会等の場で周知・啓発
- 好事例の収集・発信・共有
- 学力調査における授業外学習時間等についての結果の発信

啓発チラシ

新 高知県学力定着状況調査のCBT化

結果返却の早期化により、PDCAサイクルを回し、年度内に学力補完の取組を充実

CBTによる
学力調査
の実施

早期の
結果
提供

結果データを
把握・分析

分析を踏まえた授業改善

個々に評価・支援・助言

フォローアップ問題の提供
定着度の確認

児童・生徒・保護者対象

拡 リアル版「みらいスイッチ」体験ツアー

- 県内の企業や産業を実際に見学・体験
 - ・小学生・保護者対象…40人×4回
 - ・中学生・保護者対象…40人×2回
- ※東部・中部・西部のコースで実施

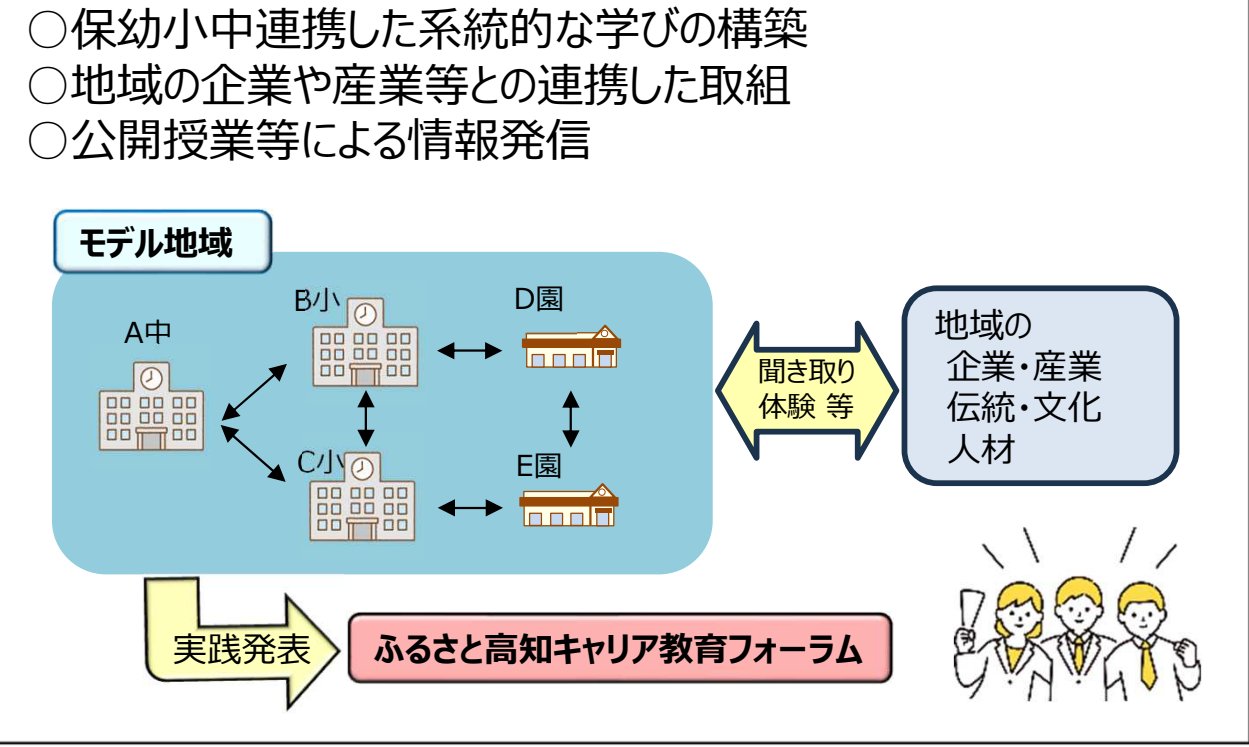
補助金制度

継 キャリア教育推進事業費補助金

- キャリア教育推進に係る財政的支援
 - 補助先…市町村（学校組合）
 - 補助率…1／2以内

学校の教育活動の充実

新 発見・発掘・発信 ふるさと高知キャリア教育推進モデル地域（4地域）



新 ふるさとCMコンテスト

- 児童生徒が住んでいる地域を紹介する動画を募集
 - ・1作品30秒以内
 - ・優秀作品は表彰、とさまなチャンネル等で公開

教員対象

新 ふるさと高知 ティーチャーズ研修

- 県の課題を知る
- 県内の産業を見学する
- 学校と行政・企業の方とグループ協議

どの幼児教育施設においても、子どもを主体とした遊びを通した直接的・具体的に関わる体験が充実するとともに、**幼児教育施設と小学校**が相互に共通理解を図り、子どもの育ちや学びをつなぐ取組が必要

※本県の教育課題を未然に防ぐ基盤を強化していく上では、就園児や児童のほぼ半数を占める**高知市との連携が極めて重要**

1. モデル校区（春野東小学校区）における取組

資質・能力をつなぐカリキュラムの作成と実践



遊びや学びのプロセスで
大切にしたい経験
幼児教育で大事にしてきた関わりや環境
カリキュラムでつなぐ

カリキュラムを実践し、園と小がともに振り返る場をもつ
互いの教育内容を生かす

保育者と小学校教員の学び合い

	R4	R5	R6
連絡会（教材研究）	5回	5回	5回
児童の交流（計画・実施・振り返り）	3回	3回	7回
園・小の子どもを見合っの協議	6回	6回	7回

保育者・教員の変容（保育・教育の考え方）

架け橋プログラムに取り組むことで、自身の保育や授業に対する考え方に変化があったと感じる
⇒ 82.4%の保育者・教員が感じると回答

子どもの変容

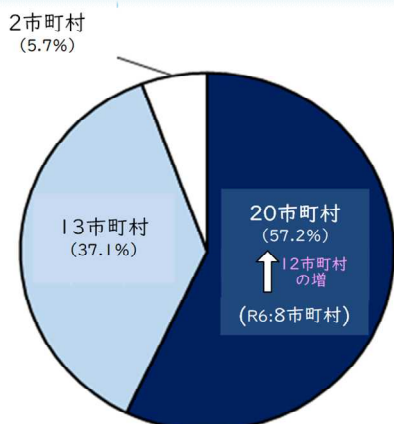
子どもの主体性は高まっていると感じますか
⇒ 88.3%の保育者・教員が感じると回答



2. 県内全域への架け橋プログラムの普及

図1 Q:市町村が中心となって架け橋期のカリキュラム作成をスタートしている

市町村教育委員会(34市町村・1学校組合)の回答



■ 1 スタートしている

- 2 現在、作成に向けて準備を進めている
- 3 今のところカリキュラム作成の予定はない

「準備を進めている」と回答した市町村も含めると、ほぼ全ての市町村においてカリキュラム作成がスタート、架け橋プログラムの取組が進んでいる。

※園と小学校の教職員による5歳児の園内研修の実施（R7KPI）

令和7年度 架け橋プログラム実施状況アンケート結果
(令和7年9月：市町村主管課対象)

	小学校の協議までの参加	割合
R6	91/270園	41.9%
R5	93/282園	38.1%

